

# 第六回おくどさんサミット



## 第六回 おくどさんサミット開催

(一社)京すずめ文化観光研究所は、京都で「おくどさん」と呼ばれるかまど文化の継承を目指す催し「第六回おくどさんサミット」を大覚寺西側にある山崎家で開催されました。

山崎家は江戸中期に建てられ、京都市の文化財にも指定されている木造住居です。

白壁に囲まれた茅葺屋根の住宅で、晴天の開催日にはとても映えて美しい建物です。

## おくどさんサミット

「おくどさんサミット」は2018年から開催されています。おくどさん文化の継承及び次世代への伝承を目的としたおくどさん未来衆のメンバーをはじめその関係者が約30名参加されました。

会場に入ると大きなおくどさんにはすでに火が点いていました。

このような中、(一社)京すずめ文化観光研究所の土居好江理事長の開会の挨拶により、おくどさんサミットが始まりました。



## 山崎家のおくどさん

昨年修復された山崎家のおくどさんには、たき口が7つあり、その中の一番大きなおくどさんでもち米を蒸しておられました。

天井を見るとおくどさんを照らす天窓があり、おくどさん中心の生活だったことがうかがえます。

(一社)京すずめ文化観光研究所様の初の試みで、おくどさんで蒸したもち米を使い、臼と杵でお餅つきが行われました。

## お餅つきはとてものにぎやか

アメリカからの参加者もあり、初の餅つきを体験されていました。また、小学生の女の子も上手に餅つきをされていて、「ヨイショ！」の掛け声で杵をつき、とてものにぎやかなお餅つきでした。

引き続き素晴らしい活動を見守っていきたいです。



◆ (一社)京すずめ文化観光研究所

<https://kyosuzume.or.jp/>